県内の小さな拠点取組事例

■事例１：勝央町吉野地区（生き活き拠点形成支援事業　Ｈ３０年度）

（１）運営主体

・一般社団法人よしの

（２）概　　要

・撤退したＪＡ支所を活用して、ガソリンスタンド、食品・日用品店舗「どんどん市場」を運営。

・施設内には住民が集えるコミュニティスペースを設置しているほか、移動販売車による買い物支援も実施している。

■事例２：吉備中央町新山地区（中山間地域等活力創出応援事業　Ｒ元年度）

（１）運営主体

・新山地区活性化推進協議会

（２）概　　要

・町有施設「新山ほほえみセンター」を拠点として、買い物・通院等、生活環境の機能を充実させることを目的に、商店の開店を目指し準備を進め、令和元年度に「新山ほほえみ笑店」を開設。

・買い物支援として、食料品・日常生活用品等を販売する店舗を運営するほか、高齢者の移動支援や地域介護予防活動支援（サロン）も行っている。

■事例３：新見市上熊谷地区（生き活き拠点形成支援事業　Ｒ２・３年度）

（１）運営主体

・支え合う上熊谷をつくる会

（２）概　　要

・令和２年度に地域運営組織の構成員を中心に話し合いを進め、拠点形成計画を策定。令和３年度に熊谷公民館を地域運営組織の活動拠点として改修した。

・学童保育や高齢者サロン、料理教室を実施しているほか、特産品づくりの拠点としても活用予定。